

《4月の天文カレンダー》

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
2	木	○ 満月 (11:12)	17	金	● 新月 (20:52)
4	土	水星が西方最大離角	24	金	◐ 上弦 (11:32)
10	金	◑ 下弦 (13:52)			

【惑星の見え方】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

水星 (-0.4~0.3 等)	: みずがめ座→うお座	観望に適さない。
☆金星 (-3.9 等)	: おひつじ座→おうし座	日の入り後、西の低空で輝く。
火星 (1.2 等)	: みずがめ座→うお座	観望に適さない。
☆木星 (-2.1 等)	: ふたご座付近	宵の頃、南西から西の空で輝く。
土星 (0.9 等)	: うお座→くじら座	観望に適さない。

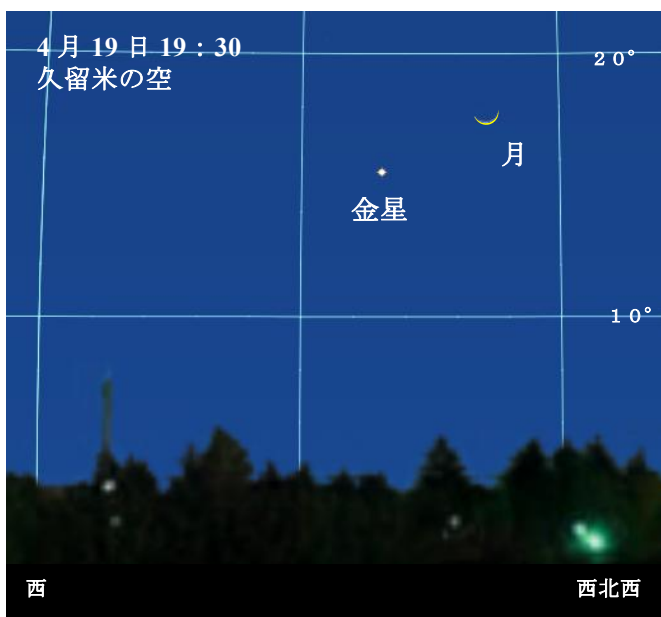
注目の天文現象 (4月) ~三日月が金星に接近~

4月に入り、日の入りの西の空には、宵の明星とも呼ばれる金星が見えます。清少納言が書いた平安時代の書物『枕草子』の一節には、「星はすばる。彦星。ゆふづつ。…」と書かれています。この中の「ゆふづつ」は宵の明星のことを指し、その美しさが讃えられています。3月に比べると、金星の高度も上がっており、観望しやすくなっております。

19日(日)には、細い月が金星に接近します。この日の月は、17日(月)の新月の日を1日目とした3日目の月で「三日月」と呼ばれます。

天体同士の接近現象には様々なバリエーションがありますが、その中でも細い月と金星の組み合わせは、明るさや分かりやすさ、空の色合いなどを総合的に考えると、最も美しく見応えのある共演だと言えます。ぜひご覧になってみてください。

《三日月が金星に接近する様子》



【ステラナビゲータ 11/株式会社アストロアーツ】

《天文イベントのご案内》

☆市民天体観望会 4月25日(土) 20:00~21:00 要予約

「木星と春の二重星をたのしもう」

- 対象：制限なし(ただし中学生以下は保護者同伴)
- 定員：100名
- 参加費：無料
- 予約：4月11日(土) 9:30よりオンラインにて先着順に受付開始。



○オンラインでの予約受付について

- ・イベントのご予約は右のQRコード、または当館ホームページよりお願いいたします。
- ・ご不明な点がございましたら来館またはお電話にてお問合せ下さい。(☎0942-37-5566)

ご予約用QRコード

